

目次

事業報告特集

1	巻頭言 シールドの里帰り.....	金山 良治
2	社団法人日本建設機械化協会定款	
7	平成14年度社団法人日本建設機械化協会事業報告	
19	シールド機の転用を容易にしたコンパクトシールド工法 —後方設備内包型3分割シールド機の採用—.....	松浦 将行・高久 節夫
25	地盤改良の施工における新工法採用 (AMP工法) —高知県中土佐町久礼排水ポンプ場建設工事—.....	川崎 文也・田所 正
31	大径化・高速化対応型の深層混合処理工法の開発 —進化したCI-CMC工法—.....	大塚 誠・原田 健二・渡辺 英次
36	自走式土質改良機を使用した砂防CSG工法の施工と品質管理	中村 良光・加賀美 康・萩原 節・白井 教男
41	煙突除染ロボット「ペンタクロス」による煙突解体工法	谷 雄一・百瀬 泰彦・杉野 孝行
43	グラビア 大径化・高速化対応型の深層混合処理工法の開発 煙突除染ロボット「ペンタクロス」による煙突解体工法	
48	本設柱に取付けて使用するジブクレーン—ブランチクレーンの開発—	鈴木 秀之・三浦 拓
54	ずいそう 建築とロボット技術.....	藤井 卓美
55	ずいそう 塚の遺蹟と土木工事.....	寺西 功
56	海外便り エチオピア通信.....	中山 実
58	新工法紹介.....	広報部会
61	新機種紹介.....	広報部会
66	お知らせ	
72	統計 (2003年2月).....	広報部会
73	行事一覧 (2003年3月)	
76	編集後記.....	(高村・星野)

◇表紙写真説明◇

テレスコ式クローラクレーン CCH 500 T

石川島建機株式会社

1. 概要

CCH 500 Tは、クローラ拡張作業時4.35mワイドスパンを実現し、基礎工事用機械として、多くの工法に対応し、工事の省略化と安全性を重視したテレスコ式クローラクレーンです。

標準装備の油圧動力取出しは定格160HP、油圧オーガ、油圧パイプロ等の作業装置の駆動を目的として、自ら油圧ユニットを内蔵した作業クレーンで、安定したパフォーマンスを確保します。

ますます厳しくなる公害対策は、環境にやさしい最新大型エンジンを搭載し、国内排ガス2次規制基準案をクリアし、低騒音型建設機械の認定も取得しています。

更に、安全性の向上のため、ブーム角度、作業半径、高さの制限を過負荷防止装置にてセットできます。

2. 特長

(1) 50トン吊×3.5m (175t・m)の吊性能は、使用頻度の多い作業半径での能力を重視し、又最大ブーム長さ34.4mは広い作業範囲を確保します。

(2) 狭い現場での作業を想定し、旋回後端半径を3,780mmとしました。

(3) 各種作業を容易にこなせる操作性と仕様性能。ブーム伸縮・ブーム起伏と他の動作の複合操作、ブーム伸縮とPTO操作の独立化、ポンプ傾転操作の容易化、旋回レバーのハンドグリップ

によるエンジン回転制御、フートアクセル・ハンドアクセルによる2系統エンジン回転制御など、作業に応じて最適な操作ができます。

(4) 国土交通省の排ガス2次規制基準をクリアした「環境エンジン」を搭載し、同「低騒音型建設機械」の新基準をクリアしています。

(5) 自力カウンタウエイト脱着装置の操作は、有線リモコンスイッチで外部から、カウンタウエイトを確認しながら、安全で容易に操作が行えます (OPT)。

(6) フルオープン式エンジンカバーと、ラジエータ前カバーにより、エンジン、ラジエータ、バッテリーなどのメンテナンスが容易になっています。

(7) 人間工学を重視した視界性の良い運転室キャビンと環境にマッチしたデザインで快適な空間を確保しています。

主な仕様

形式	CCH 500 T
最大吊上げ荷重	50 t×3.5 m
ブーム伸縮長さ	11.3~34.4 m
主フック最大地上高さ	33.0 m
主フック最大作業半径	30.0 m
巻上げロープ速度 (主・補)	100 m/min (1層目)
ブーム伸長速度	125/23.1 sec/m
ブーム上げ速度	60/-2~80 sec/度
旋回速度	2.4 min ⁻¹ (rpm)
走行速度	2.0~1.4 km/h
作業時質量	55.5 t
平均接地圧	71 kPa
エンジン定格出力	175/2, 100 kW/min ⁻¹ ; 238/2, 100 PS/rpm